

るのバス利用実態調査結果（速報版）

1. 調査概要

- ・平日1日のるのバス全便に調査員2人を乗車させ、全旅客を対象として支払運賃別に乗降バス停を調査した。
- ・併せて、JR五日市線、西東京バス路線及び草花折立循環便との乗継が可能なバス停においては、乗降前後の乗継有無についても聴取した。
- ・調査日：令和2年11月30日（月）

2. 便別旅客数

- ・調査当日の旅客数は計111人であった。なお、うち20人はルート・コースを跨ぐ利用（例：小川コース内で乗車し、医療センターコースに引き続き乗車して阿伎留医療センターで下車）をしており、以下の集計においてはルート・コース単位での利用集計とすることから、131人を母数としている。
- ・便別にみると、最多は2便の計34人で、うち小川コースが18人、医療センターコースが12人であり、それぞれのコースでの最多であった。
- ・他のルート・コースの最多旅客数を見ると、五日市ルートは5便（武蔵五日市駅→秋川駅）の14人、草花コースは6便の9人である。
- ・一方、旅客数が少ない便をみると、10便の3人が最小であり、うち草花コース1人、小川コース2人とも、各コースでの最小である。
- ・その他のルート・コースでは、五日市ルートでは4便（秋川駅→武蔵五日市駅）と9便（武蔵五日市駅→秋川駅）がともに4人、医療センターコースでは6便の6人である。

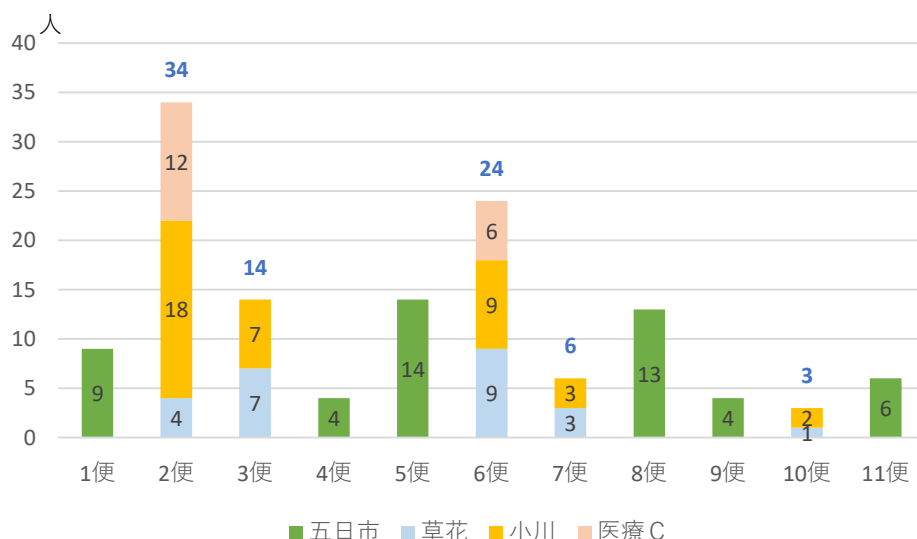


図1 便別旅客数

3. 運賃支払い方法

- ・旅客数を運賃支払い方法別にみると、85人（76%）が現金で支払っており、回数券利用者は21人（19%）であった。
- ・無料では、高齢者のるのバス無料乗車証、未就学児が各2人（2%）であった。

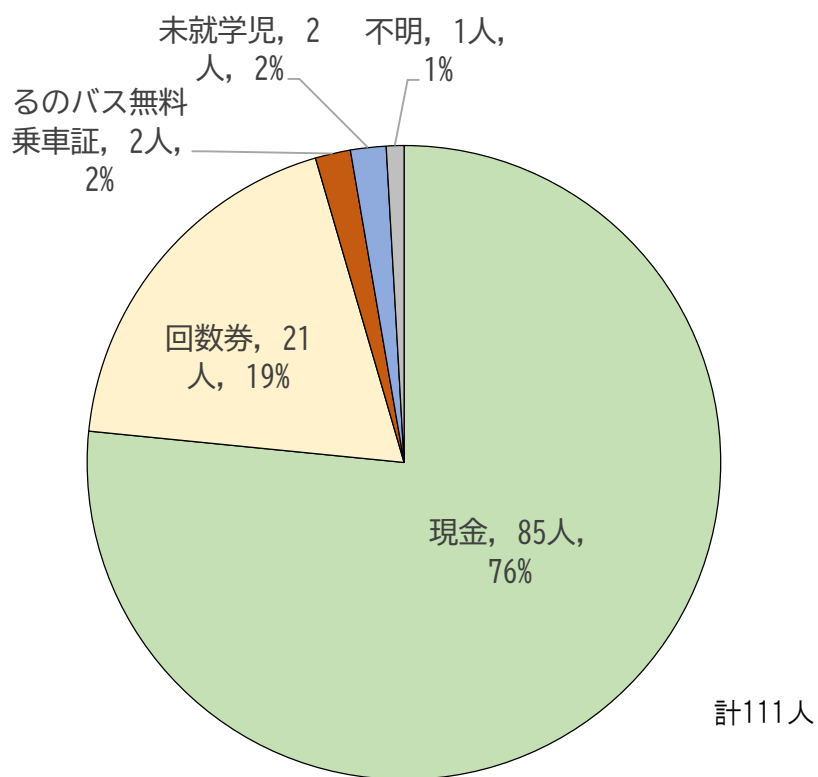


図 2 運賃支払い方法別旅客数

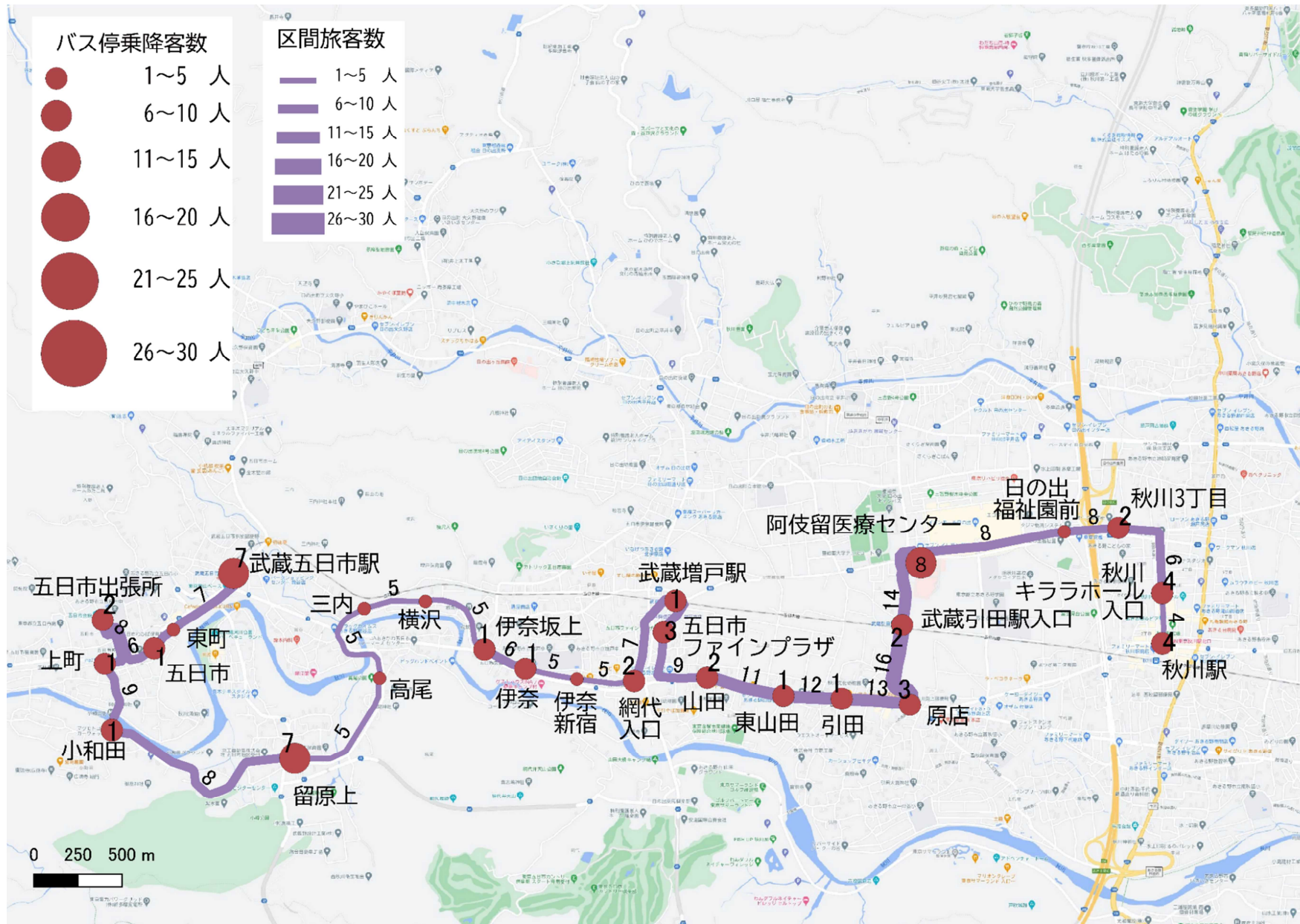


図 4 区間別旅客数 [五日市ルート (武蔵五日市駅→秋川駅) 計]

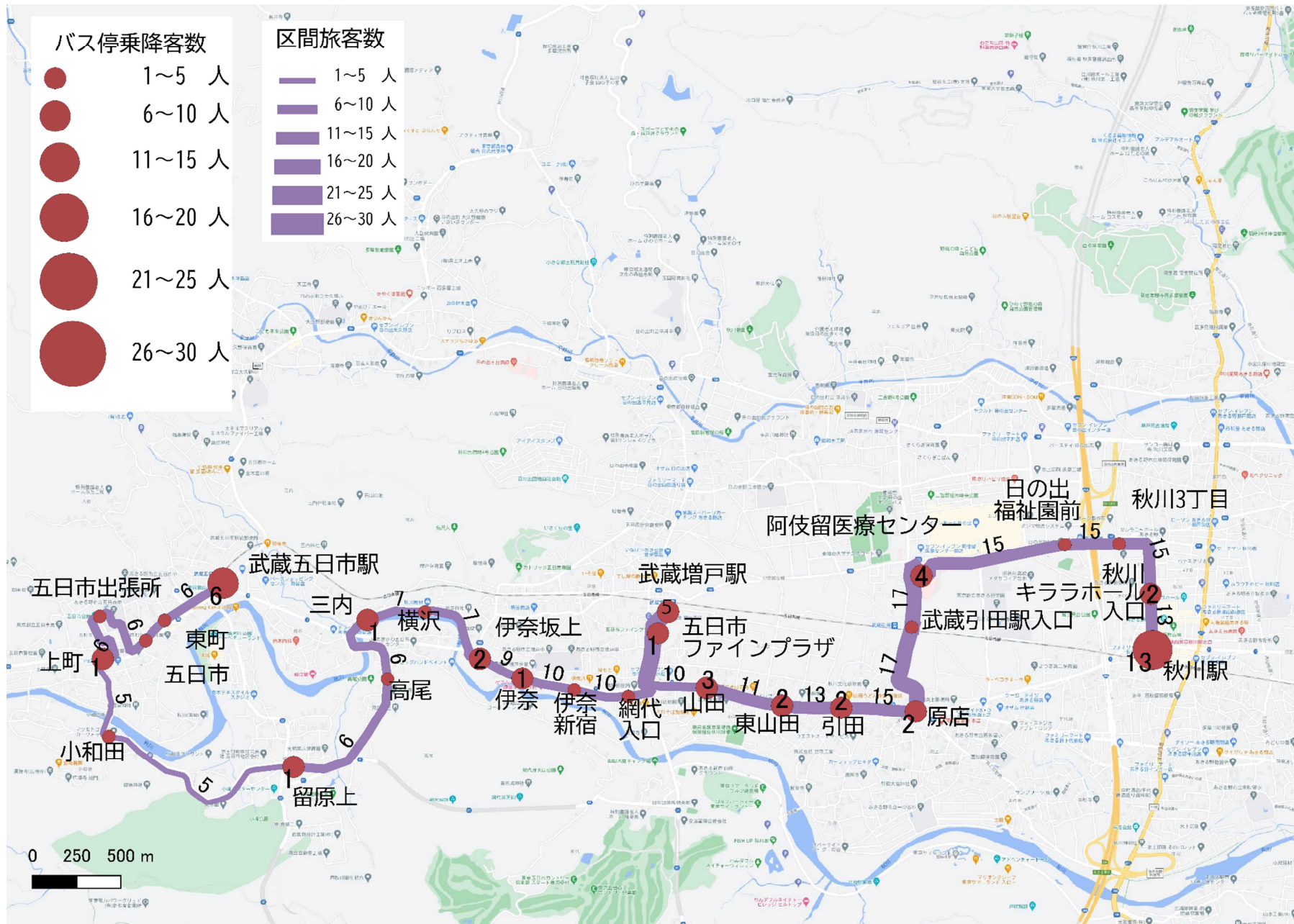


図 6 区間別旅客数 [五日市ルート (秋川駅→武蔵五日市駅) 計]

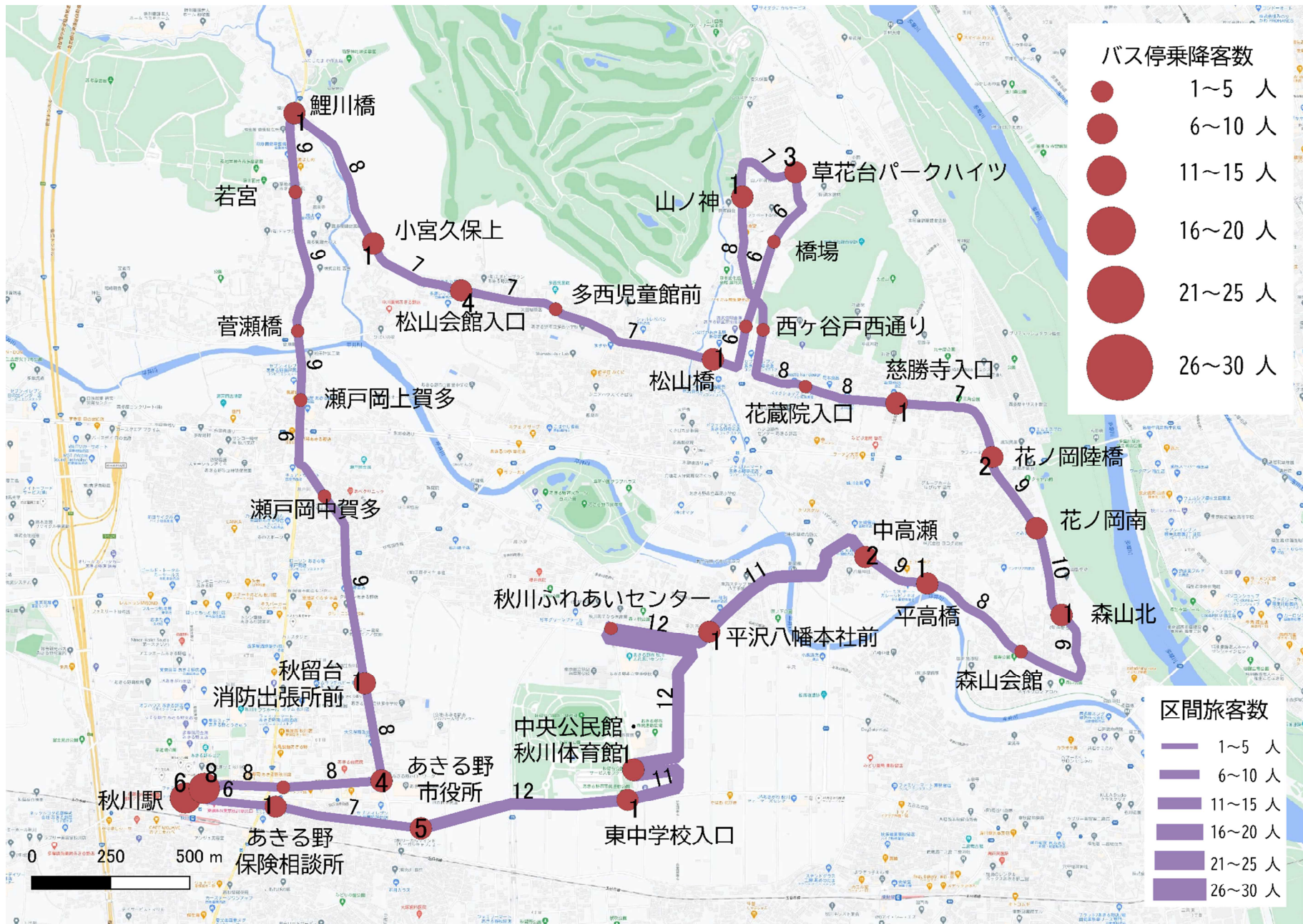


図 8 区間別旅客数 [秋川ルート (草花コース) 計]

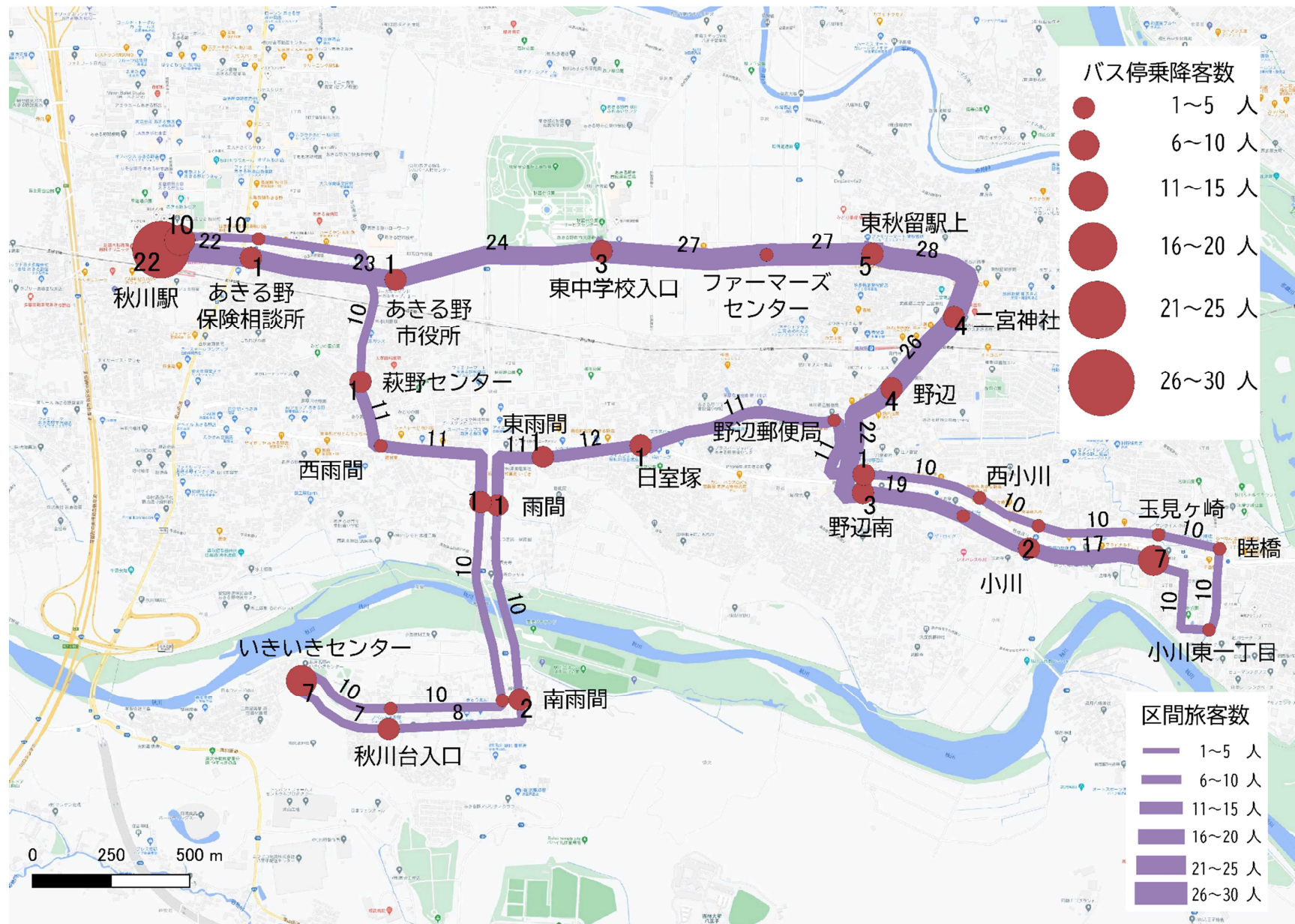


図 10 区間別旅客数 [秋川ルート (小川コース) 計]

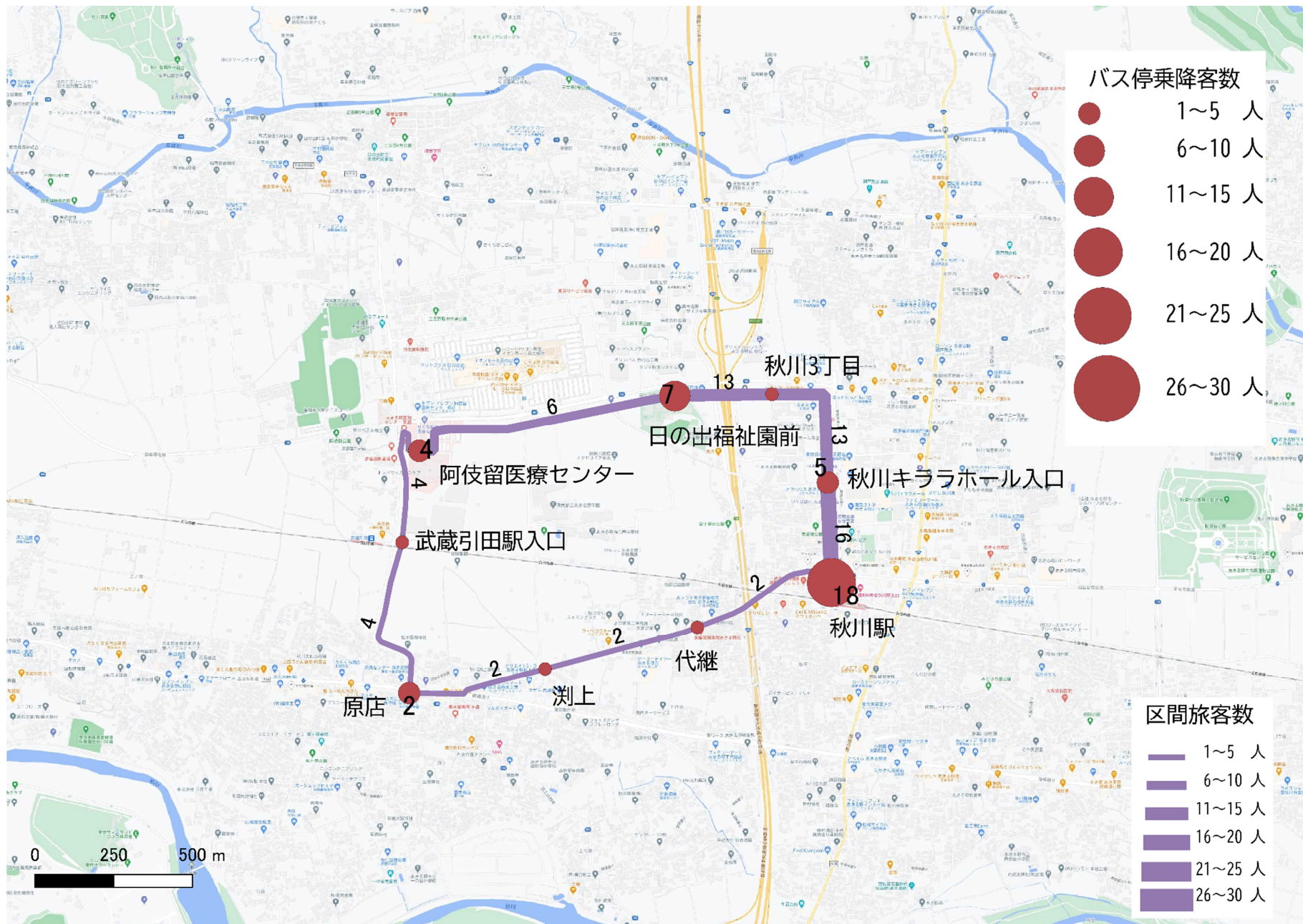


図 12 区間別旅客数 [秋川ルート (医療センターコース) 計]

5. 他の公共交通機関との乗り継ぎ

1) 他の公共交通機関からるのバスへ

- ・他の公共交通機関からるのバスへ乗り継いだ旅客は計 16 人であった。
- ・うち 11 人は JR 五日市線からの乗り継ぎであり、秋川駅 6 人、武蔵増戸駅 2 人、武蔵五日市駅 3 人である。
- ・西東京バスからるのバスへの乗り継ぎは 5 人あり、うち 4 人は秋川駅での乗継だが、1 人は山田での乗継であった。
- ・特に乗り継ぎが多く発生しているというルートはみられなかったが、五日市ルート（秋川駅→武蔵五日市駅）が 6 人とやや多い。
- ・現在実証運行中の、草花折立循環交通との乗り継ぎはみられなかった。

表 1 他の公共交通機関からるのバスへの乗り継ぎ

ルート	乗換バス停	るのバス乗車前の利用交通機関			
		JR	西東京バス	草花折立循環	計
五日市ルート (武蔵五日市駅 →秋川駅)	秋川駅	0	0	0	0
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	3	0	0	3
	山田	0	0	0	0
	小計	3	0	0	3
五日市ルート (秋川駅→ 武蔵五日市駅)	秋川駅	2	1	0	3
	武蔵増戸駅	2	0	0	2
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	山田	0	1	0	1
	小計	4	2	0	6
秋川ルート (草花コース)	秋川駅	2	1	0	3
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	山田	0	0	0	0
	小計	2	1	0	3
秋川ルート (小川コース)	秋川駅	1	1	0	2
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	山田	0	0	0	0
	小計	1	1	0	2
秋川ルート (医療センター コース)	秋川駅	1	1	0	2
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	山田	0	0	0	0
	小計	1	1	0	2
計	秋川駅	6	4	0	10
	武蔵増戸駅	2	0	0	2
	武蔵五日市駅	3	0	0	3
	山田	0	1	0	1
	計	11	5	0	16

2) るのバスから他の公共交通機関へ

- ・ るのバスから他の公共交通機関へ乗り継いだ旅客は計7人であった。
- ・ うち6人はJR五日市線への乗り継ぎであり、秋川駅2人、武蔵引田駅、武蔵五日市駅各1人である。
- ・ 西東京バスへの乗り継ぎは1人あり、秋川駅での乗継であった。
- ・ 特に乗り継ぎが多く発生しているというルートはみられなかったが、五日市ルート（秋川駅→武蔵五日市駅）が3人とやや多い。また、医療センターコース利用後の乗り継ぎはみられなかった。
- ・ 現在実証運行中の、草花折立循環交通との乗り継ぎはみられなかった。

表2 他の公共交通機関からるのバスへの乗り継ぎ

ルート	乗換バス停	るのバス乗車後の利用交通機関			
		JR	西東京バス	草花折立循環	計
五日市ルート (武蔵五日市駅 →秋川駅)	秋川駅	1	0	0	1
	武蔵引田駅入口	1	0	0	1
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	小計	2	0	0	2
五日市ルート (秋川駅→ 武蔵五日市駅)	秋川駅	0	0	0	0
	武蔵引田駅入口	0	0	0	0
	武蔵増戸駅	1	0	0	1
	武蔵五日市駅	2	0	0	2
	小計	3	0	0	3
秋川ルート (草花コース)	秋川駅	1	0	0	1
	武蔵引田駅入口	0	0	0	0
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	小計	1	0	0	1
秋川ルート (小川コース)	秋川駅	0	1	0	1
	武蔵引田駅入口	0	0	0	0
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	小計	0	1	0	1
秋川ルート (医療センター コース)	秋川駅	0	0	0	0
	武蔵引田駅入口	0	0	0	0
	武蔵増戸駅	0	0	0	0
	武蔵五日市駅	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0
計	秋川駅	2	1	0	3
	武蔵引田駅入口	1	0	0	1
	武蔵増戸駅	1	0	0	1
	武蔵五日市駅	2	0	0	2
	計	6	1	0	7